

田安 一時150円台



一時、「1ル=150円台」をつけた為替相場を表示するモニター=20日午後4時40分、東京都港区の外為どっとコム、福留庸友撮影

1年 = 150円、20
の75円32銭から、11年で24
ルに対する田の価値が半分
になつたのである。
1863年、市場が反応した

とみられるのが、財務省が20日前に発表した22年度上半期(4~9月)の貿易統計(速報値)だ。輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、年度半期の赤字

32年ぶり水準

20日の東京外國為替市場で円相場が一ドル=115.50円台まで下落し、32年ぶりの田安水準を更新した。米国が物価騰騰を抑えるための網上に踏み切った政策は、田安が進んでる。政府は田安の動きに牽制を強めているが、歯止めがかかりじた。

FRBの幹部が19日、今後も利上げに積極的な姿勢を示したと述べた上場。田原アントン議長が率いるFRBは、米国が長い間金利を維持して来たことへの懐疑感から、年内に利上げを実現する見込みだ。

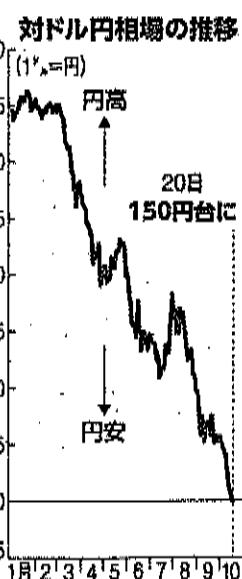
三

額にして過去最大の11兆75億円となつた。企業などが輸入資金を確保するため、円を売つてドルなどの外債を買つ動きが続くとの見方から、円安が進んだ。

急激な円安の背景にあるのは、米国の利上げによる日米の金利差の拡大だ。米国の中央銀行にあたる連邦

報道陣の取材に応じ、「投機による過度で激変は容認できない。そうした動きがあるときには断固たる対応を取る」と市場を牽制した。政府と日本銀行はドル145円から90銭まで下がった9月22日、ドル売り・円買いの為替介入を実施し

田安は、輸入価格の上昇を通じて収益の負担を重くする。みずほリサーチ&テクノロジーズの酒井オカ田の試算によると10月以降、1ドル=115円が継ぐと仮定するが、政府の物価監査策を加味しても、2人以上の世帯の22年度の出資額は、食費の増加など、前年度に比べ平均で8万6462円増える見通しだ。



政府の幸制きかず